



学校評価の結果について

今年度も保護者アンケート、児童アンケート、教職員における自己評価を実施し、課題をあげ改善策を検討しました。

その後、今後の方向性が妥当であるか、学校関係者評価委員の皆様にご評価いただき、今後の学校運営改善のための指針とさせていただきます。

つきましては、今年度の学校評価について、各種アンケートの結果及び、今後の取組についてお伝えいたします。保護者の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

1 アンケートの結果

No	質 問 項 目		評 価		
			教職員	保護者	児童
1	学力向上に関すること	学校では、各教科で基礎学力の向上を目指した教育活動がなされていると思いますか。	基礎基本 3.0 +0.1 授業力 3.2 +0.1 授業改善 3.3 +0.3	3.3 ±0	3.5 +0.1
2	あいさつ、言葉遣いに関すること	学校は、あいさつや言葉遣いなどを身に付ける指導を大切にしていると思いますか。	3.0 +0.4	3.2 +0.1	3.5 +0.1
3	いじめや不登校に関すること	学校は、いじめや不登校、問題行動をなくすための適切な指導を行っていると思いますか。	いじめ 3.5 +0.1 不登校 3.1 +0.1	3.1 +0.1	3.7 ±0
4	情報発信に関すること	学校便りや学年通信、各種プリントなどで学校からの情報を積極的に発信されていると思いますか。	3.1 ±0	3.4 -0.1	3.4 -0.1
5	安全確保に関すること	学校は、子供たちの安心・安全な生活について気を配っていると思いますか。	安全教育 3.5 +0.3 危機管理 3.4 +0.2	3.3 +0.1	3.8 ±0
6	きまりに関すること	お子さんは、日新小のきまりをしっかり守って生活していると思いますか。	学習規律 3.0 ±0 生活規律 3.0 +0.1	3.2 ±0	3.4 +0.1
7	健康、体力向上に関すること	学校は、子供たちの健康や体力の向上のための活動に取り組んでいると思いますか。	3.3 +0.3	3.2 ±0	3.4 ±0
8	相談体制に関すること	学校は、子供の学習や生活、心身の健康などについて家庭に連絡したり、気軽に相談に乗ったりしていると思いますか。		3.2 ±0	3.1 +0.1
9	生活リズムに関すること	お子さんは、十分な睡眠時間がとれるような生活リズムが身に付いていますか。	2.6 -0.1	3.2 +0.2	3.2 +0.2
10	学習習慣に関すること	お子さんは、毎日決まった時間（学年×10分以上）、家庭学習や宿題に取り組み、家庭での学習習慣が身に付いていますか。	2.6 ±0	3.0 +0.1	3.0 +0.1

+ - : 昨年度比

2 保護者アンケートの記述とアンケート結果等からの改善の方向性

(1) 学力向上に関すること

○保護者アンケート記述

- ・読み取る力をつけて頂きたいです。問題を理解する力が弱いと思うからです。
- ・学力向上のため、宿題の量を増やすこと。
算数は積上げ教科なので自学年以下の内容の振り返りをして頂きたいです。
- ・年々授業の質も子どもたちの取り組み方もとても良くなってきていて、子どもたち自身で考えて行動するという力がついてきているように思います。
学校でできることではありませんが、学習環境の整備としてエアコンの設置を強く要望します。

○改善の方向性

- ・各種調査や検査の結果から、基礎基本の定着に課題（特に算数科）が見られます。
現在取り組んでいる朝学習でのタブレットの活用や給食前等の隙間時間の有効利用、基礎学力調査による課題把握等の内容をより工夫し、基礎基本の定着を図っていきます。
- ・習熟度別少人数指導や TT 指導を次年度も実施し、学習内容を確実に身に付けられるよう取組を進めていきます。
- ・児童が意欲をもって、自ら学習に取り組むことができるように研修部を中心に授業改善を図っていきます。

(2) 挨拶・言葉遣いに関すること

○保護者アンケート記述

- ・我が家にも言えることなのですが…挨拶に力を入れていきたい・頂きたいです。
交通安全指導の方、又日々すれ違う保護者の方等、無言ですれ違う場面が多く感じます。
挨拶を通して、地域全体で子供たちを見守っていける環境作りができるといいなと思っています。

○改善の方向性

- ・児童会を中心とした自主的な取組を行うとともに、身近な大人である教職員が率先して挨拶をすることや保護者に挨拶の大切さについて啓発を行う等、挨拶に対する意識が変わっていくようはたらきかけていきます。

(3) いじめ・不登校に関すること

○保護者アンケート記述

- ・現状のように、いじめがなく楽しい学校生活を送ることができる環境作りに力を入れて頂けることを希望します。子供が喜んで学校へ行ってくれることが何よりと思いますので。
これからもどうぞよろしくお願い致します。
- ・子供たち一人一人を観察し声をかけ、友達に迷惑をかけている子に指導をお願いしたいです。
安心して送り出せる学校であってほしいです。

○改善の方向性

- ・いじめについては、全教職員が高い意識をもち取り組むことができました。今後も未然防止に努めるとともに、事後は初期対応を迅速に行い、適切なはたらきかけを行っていきます。
- ・不登校の対応は、関係者が連携を取り、適切に対応することができました。次年度は、より綿密に取り組を進め、未然防止に努めるとともに、現状の改善に努めます。

(4) 情報発信に関すること

○保護者アンケート記述

- ・特になし

○改善の方向性

- ・通信等を通して、児童の様子が伝えられるよう取り組んできました。次年度もできる限り子どもたちの活動の様子を伝えていけるよう工夫を凝らしていきます。

(5) 安全確保に関すること

○保護者アンケート記述

- ・特になし

○改善の方向性

- ・登下校及び校内、校区内での安全指導については、街頭指導や校区内巡回、校内安全点検等の取組を計画的に行ってきました。次年度も児童の事故・ケガの未然防止に努めるとともに、緊急時の対応も不測の事態を予測し訓練を行うなど、準備を整えていきます。

(6) きまりに関すること

○保護者アンケート

- ・特になし

○改善の方向性

- ・全校で統一した指導となるよう取り組むことができました。
次年度もそろえる活動の意図を全職員で共通理解し、適宜改善を加えながら、取組を進めていきます。

(7) 健康、体力向上に関すること

○保護者アンケート

- ・特になし

○改善の方向性

- ・計画的に短縄・大縄・持久走の取組を行い、児童の体力づくりに取り組みました。また、グラウンドにドッジボールコートを常設し、運動機会増加に向けての取組を行いました。
- ・マラソン大会は令和2年度に行事の精選や学校指導要領の改訂に伴う体育科の指導内容の見直しから実施しないことを決めています。

(8) 相談体制に関すること

○保護者アンケート記述

- ・特になし

○改善の方向性

- ・教職員だけではなく、スクールカウンセラーや苫小牧市子ども相談課などの専門家や関係機関と連携し、相談体制を整えてきました。(今年度のスクールカウンセラー活用件数は14件) 次年度も各御家庭の相談を受けられるよう、体制を整えていきます。

(9) 生活リズムに関すること

○保護者アンケート記述

- ・特になし

○改善の方向性

- ・規則正しい生活リズムで毎日の生活を送っていない児童が多くみられます。決まった時間に睡眠をとり、朝ご飯をきちんと食べたかどうかを5日間チェックする元気アップの取組では、すべての項目で達成できた児童は、全体で約18%しかいません。
今後も元気アップの取組を続けるとともに、通信等で規則正しい生活リズムの重要性について啓発を行っていきます。

(10) 学習習慣に関すること

○保護者アンケート

- ・特に力を入れて欲しいというか、考慮して欲しい事があります。
宿題の内容なのですが、例えば授業等でしっかり[作文]の書き方を教えてから宿題にするとか、しっかり授業で時間が取れないなどあれば、せめて、1行作文にするとかしてあげて欲しいです。学年が低いと学校で学んでいない事をなかなか自分で予習的な学習をして独学で学ぶのはとても難しいと思います。あと、学年の宿題として出ている学年と、クラスの宿題として出ているクラス学年があるのはなぜですか？クラスによって宿題の難易度が違うのは良くないと思います。
- ・家庭学習(ノート学習)は、どんな問題を作るのか考えている時間が長くなってしまっているので、勉強をしている時間がかなり短くなってしまいます。出来れば、色々な問題が解けるように、漢字や計算のプリントを数枚配っていただけると、効率良く学習できるのではないかなと思います。

- ・この地域（胆振全体）はあまり学力が高くないように感じます。家庭学習のあり方にも問題があるのかと思いますが、それだけでは無いように思っています。子供たちが家庭でも学習に取り組めるような工夫をお願いしたいです。

○改善の方向性

- ・うちガク調査や通信等で各家庭に啓発を行っていますが、うちガク目標時間（学年×10＋10分）に到達している児童の割合は、全体で約48％と低い状況にあります。また、学年が上がるごとに達成率が下がっている傾向が見られています。

今後も家庭への啓発及び協力をお願いをしていくとともに、児童自らが学習する必要性を感じることができるようはたらきかけを行っていきます。また、宿題については、学年で統一したものを基本的には配布するよう心掛けていきます。

（11）その他

○保護者アンケート

《ICT関係》

- ・家庭内でも少しずつ話題にするようにしていますが、低学年からスマホを手にしてる子もいる時代なので、そういったトラブルが起きないように（起こさないように）、情報モラルやネットリテラシーについての教育をとり入れて欲しい。
- ・生徒同士でのネットやスマホの使い方について、ルールのようなものがあればと思います。

《行事関係》

- ・運動会や学習発表会などの行事は、平日開催でいいと思います。
また、先生方の働き方改革の観点から、このような取り組みは、行事として行うのではなく、参観日のような形で行ったり、内容なども簡略化したりし、準備や指導に従来よりも時間のかからないような形で行えたら、先生方の負担が大きく減ると思います。
コロナ禍の中で、様々な取り組みが形を変えて行われたり、廃止となったりしましたが、行事の内容や取り組み方を完全に元に戻す必要はないと思います。
来年以降、検討頂けたらと思います。

《学級指導》

- ・性教育について、積極的に取り組んで頂きたいと思います。
- ・毎度、お願いしているが、性（生）教育をもう少し取り入れた授業をしていただきたいです。（全学年、学年に合わせた。）日新小学校がどのように行っているかわからない。
例えば、生理の授業は今だに女子だけ集めて行っているのですか？
もし、男女別々に行っているのであれば、なぜ別々にしているのか？理由はなんですか？
男子児童にもキチンと知っていて欲しい内容だと思うので男女、一緒に学ぶべきだと思います。それは学校だけに任せるのではなく、家庭でも教えるべき事だと思います。

《その他》

- ・特にありませんが……。学習発表会、全学年の発表を見ることができて良かったです。
- ・いつもお世話になっております。子ども同士が素直に意見を述べ合えるような、よい人間関係を築いていけるよう、これからもご指導お願いします。
- ・担任の先生のおかげで勉強頑張るようになりました。感謝しかありません。
- ・熊が出没した時の対応についてですが、出没した地域の子供達への保護者のほとんどが朝学

校まで送迎していたように思います。ですが下校時には仕事でお迎えに行けないご家族もあり、低学年のお子さんが1人で怖がりながら坂を駆け上がる様子を見かけました。学校のメールでは保護者や地域のみなさんで見守りを…との内容でしたが、もう少し何か対応できる事はなかったのでしょうか。対象地域の子ども達だけでも集団下校にはできないのでしょうか。低学年が高学年と同じ時間に下校できるよう、図書室やフレンドリールームでの下校待機などできないのでしょうか。市役所の方々が2週間ほど朝夕の登下校の見守りをしていましたが、学校からは出沒報告のメールの後は何の連絡もなく、子どもも保護者もいつまでこの状態が続くのだろうと長い間不安なまま過ごしました。安全確保は各々の判断とは思いますが、保護者もできる限り努力と協力を励みますが、今後も同様の事が起こり得る場合も予想できますので、登下校について子ども達が少しでも安心できるよう学校でもご検討いただきたいと思います。

○改善の方向性

①職員の指導・対応に関すること

- ・児童の学力向上や充実した学校生活に向け、児童と教師や児童同士の関係性がよくなるよう、細心の注意を払いながら学校・学級づくりを行っていきます。また、教員一人一人の指導力を高めていくために、次年度も研修を行っていきます。
- ・インターネットを通じた情報のやり取りが当たり前になってきた今、情報教育はなくてはならないものとなりました。これまでもおこなってきてはいますが、今後はより一層情報教育の質を高め、充実させていきます。
- ・性教育は、年間指導計画に沿って計画的に実施しました。次年度も計画に沿った指導を行うとともに、保護者の皆様へ指導状況の周知を行っていきます。
- ・クマ出沒時の対応について、不安を与える内容であったこととお詫び申し上げます。今後は緊急時の情報共有や協力要請等について、最善策の検討及び周知を迅速かつ適切に行っていきます。

②行事に関すること

- ・子供たちの主体性が育つことを第一に考え、行事の内容等について精選していきます。

③その他

- ・今後も感謝の言葉がいただけるよう、全教職員一丸となって教育活動に取り組んでいきます。